

## アジア学科 留学体験談(2018年度)

### 「帰国後は台湾が恋しくて仕方ありません」

氏名:長谷川朋未(2015年度入学)

留学の区分:私費留学

留学先:台湾、輔仁大学  
(2017年9月~2018年8月)



#### 高校生・在学生へ伝えたい体験談

##### 〈留学前〉

私は大学入学前から、海外留学に行きたいと考えていました。大学入学後、アジア学科で中国語を学ぶうちに、中国語をマスターしたいという目標ができ、中国語圏への留学を決めました。台湾を留学先として選んだ理由は、2年次にアジア学科の「言語実習」に参加して台湾を訪問したことです。実際に大学で中国語の授業を受けたり、現地の学生と交流しました。実際に留学することをイメージができたこと、人々の優しさに魅力を感じたことで、台湾へ留学することを決めました。



##### 〈留学中〉

台湾には、日本語を学ぶ台湾人学生、留学に来た日本人学生がたくさんいます。私はそのような人たちの架け橋になりたいと思い、友人と共に「心カフェ」という日台交流イベントを行いました。学生たちを集めて月1回、10名ほどの小さな交流会を開き、言語交換やお互いの国の紹介をしました。これを通して様々な人と出会い、「台湾の経済を学びに台



湾へ来た」「これから日本に留学したい」など  
様々な目標・志を持つ人たちと交流することは  
自分にとってもいい刺激になりました。

言語上達のために、私は極力日本語を話さ  
ず、現地の友人と交流するように努めました。  
そのために行ったことの一つは、バレーボール  
サークルに参加したことです。毎週末、台湾人  
に囲まれてバレーをし、そしてバレーを通して  
できた友人たちと交流して日ごろから中国語の  
シャワーを浴び、中国語は格段に上達しまし  
た。

#### 〈留学後〉

帰国後は台湾が恋しくて仕方ありません。今  
も台湾で出会った友人たちとは SNS を使って  
連絡を取り合っています。留学を通して友好関  
係の輪が広がり、かけがえのない友人と出会う  
ことができたことは大きな収穫だと思っていま  
す。

また、留学を通して様々な人と出会ったこと  
で「自分」について考えることが増えました。帰  
国後の今は将来について、留学で得たことを  
どう活かすかなどを考えています。

#### 高校生・在学生へのメッセージ

留学したい人達の中でも、「語学を学びたい」  
「成長したい」など目的は様々で、また留学に  
行った人たちそれぞれ得るものも全く違うと思  
います。日本では得られないなにかを求めて  
いる人、ぜひ海外に飛び出してみたらいいと思  
います。

私のモットーは「『やっておけばよかった』と  
いう後悔は残さない！」です。後になって「留学  
に行っておけばよかった」という後悔が残らな  
いよう、みなさんもぜひ挑戦してみてください。

